

## 江戸吉原のおいらん道中を撮ろう！



江戸開府 400 年を記念し、浅草観音うら地域の沿道に一葉桜を植樹して、スタートした「浅草観音うら・一葉桜まつり」で美しく咲く一葉桜の並木通りで、パレード、街角ステージショー、模擬店、フリーマーケット等が開催されて、大変賑わいます。また恒例となった「江戸吉原おいらん道中」は江戸情緒を現代に伝える華やかな催しとなっています。

開催月日：2018年4月14日(土) 10時—16時

なお雨天時は翌15日(日曜日)に順延します

開催場所：東京・奥浅草・吉原(地図を参照ください) 赤矢印をパレードする  
一葉桜・小松通り(浅草5丁目)～柳通り(浅草4丁目)


集合場所：花魁道中会場ステージ付近(現地集合)


地下鉄銀座線 浅草駅から徒歩10～15分位

集合時間：午前9→11時に変更(早めに行って場所取りをする為)

昼食持参：付近には食堂が少ないのでコンビニでお握り又はパン及び飲料を持参するとベターです。




 東武線・東京メトロ銀座線・都営地下鉄浅草線「浅草」駅より徒歩10分  
 東京メトロ日比谷線「入谷」駅より徒歩10分  
 つくばエクスプレス「浅草」駅より徒歩5分


 都バス下車停留所【浅草四丁目、浅草警察署前】  
 めぐりん下車停留所【北めぐりん29番千束三丁目】



### 吉原の狐舞ひ

「吉原の狐舞ひ」は、江戸時代の吉原で大晦日に行われたという門付け芸。吉原は廓の四隅と大門の外には計5つの稲荷神社があり、遊女たちの信仰を受けており、遊女たち自身も「狐」と呼ばれていたりと、なにかと狐に所縁のある街であった。そんな吉原で大晦日、狐の面をかぶり御幣と鈴を持った「狐舞ひ」が現れ、新年を奏いだたと伝えられており、その姿は葛飾北斎の浮世絵にも描かれている。



### 雅屋

既存の古典の枠にとらわれずに現代演出を取り入れ、また他分野の古典芸能プレイヤーらとチームを組み、歌舞伎SHOWとして日本の魅力、歌舞伎の面白さを国内外、場所を問わずに発信し続けている。国際的なイベントへの出演実績も多く今後も積極的に関海外展開を目指している。

